

2020年度

環境経営レポート

(2020年8月～2021年7月)



2021年9月30日

有限会社 アバクリーン

〒840-0857 佐賀県佐賀市鍋島町大字八戸1624番地5

〈 目 次 〉

1. 組織の概要	P1
2. 認証・登録の対象範囲	P4
3. 環境経営方針	P4
4. 環境経営目標	P5
5. 環境経営計画	P6
6. 実施体制	P7
7. 環境経営目標の実績とその評価	P8
8. 環境経営計画の実績・取組結果とその評価	P9
9. 環境経営活動の取組結果に対する評価・次年度の取組について	P10
10. 今後の環境経営目標	P12
11. 今後の環境経営計画	P13
12. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	P14
13. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P14
14. 受託した廃棄物処理量	P15

1. 組織の概要

I. 事業所名および代表者氏名

有限会社 アバクリーン 代表取締役 牧野 保博

II. 所在地

本社 〒840-0857 佐賀県佐賀市鍋島町大字八戸1624番地5

TEL(0952)25-0339 FAX(0952)25-0397

佐賀営業所 〒840-0864 佐賀県佐賀市嘉瀬町大字荻野2221番地8

TEL(0952)33-6125

伊万里営業所 〒848-0026 佐賀県伊万里市大川内町丙1805番地

TEL(0955)22-5922

III. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 山田義光

事務局 北村保雄

連絡先 TEL(0952)25-0339 FAX(0952)25-0397

E-mail abaclean@po.bunbun.ne.jp

IV. 事業活動の概要(対象活動)

① 事業系一般廃棄物収集運搬業

(佐賀市、伊万里市、小城市、神崎市、吉野ヶ里町)

② 産業廃棄物収集運搬業

③ 特別管理産業廃棄物収集運搬業 (医療系廃棄物等)

V. 事業規模

(1) 受託処理量(詳細は別紙参照) 2,894t (2020年度)

(2) 従業員数 10名

(3) 事業所延べ床面積 299㎡

VI. 法人設立年月日 平成4年4月20日

VII. 資本金 300万円

VIII. 売上高 14,720万円 (2020年度)

IX. 事業年度 8月～翌年7月

X. 処理料金 個別見積り

ⅩⅠ. 許可内容

《一般廃棄物処理業許可一覧》

市町村	積替 保管		許可の年月日 及び有効年月日	許可番号及び 文書番号	処理業 の区分	取扱廃棄物 の種類
	有	無				
佐賀市		○	令和2年4月1日 令和4年3月31日	第1023号 (許可番号)	収集 運搬	事業系 一般廃棄物 (ごみ)
小城市		○	令和3年3月1日 令和5年2月28日	小城市指令28小環 廃第18号 (許可番号)	収集 運搬	可燃ごみ・ 不燃ごみ
神崎市		○	令和3年4月1日 令和5年3月31日	神崎市生環第17号 (文書番号)	収集 運搬	事業系 一般廃棄物 (ごみ)
吉野ヶ里町		○	令和3年4月1日 令和5年3月31日	第6号 (許可番号)無し	収集 運搬	事業系 一般廃棄物 (ごみ)
伊万里市		○	令和2年4月1日 令和4年3月31日	伊万里市指令環27 号 (文書番号)	収集 運搬	事業系 一般廃棄物 (ごみ)

《産業廃棄物許可》

産業廃棄物収集運搬業				許可項目																				
都道府県及 び政令都市	積替 保管		許可の年月日及び 有効年月日	許可番号	燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プ ラ ス チ ク 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 性 残 渣	ゴ ム く ず	金 属 く ず	コ ン ク リ ー ト く ず	ガ ラ ス く ず	陶 磁 器 く ず	鉦 さい	が れ き 類	ば い じ ん	水 銀 使 用 製 品 産 業 廃 棄 物	
	有	無																						
佐賀県	●	○	平成30年2月25日 平成37年2月24日	04101002 112	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県		○	平成30年2月12日 平成37年2月11日	04000002 112	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

《特別管理産業廃棄物許可》

産業廃棄物収集運搬業				許可項目					
都道府県及 び政令都市	積替 保管		許可の年月日及び 有効年月日	許可番号	感 染 性 産 業 廃 棄 物	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ
	有	無							
佐賀県	●	○	令和3年2月16日 令和10年2月15日	04151002 112	●	○	○	○	○
福岡県		○	平成31年1月6日 令和38年1月5日	04050002 112	○	○	○	○	○

X II. 積替保管場所の内容

積替保管施設の所在地及び面積、許可の条件

《産業廃棄物許可》

所在地	佐賀県佐賀市嘉瀬町大字荻野2221番地8			
産業廃棄物の種類	面積	保管上限	保管高さ	備考
廃プラスチック類	10㎡	18㎡	2.0m	屋内(フレコンバック)
繊維くず	5.1㎡	6.0㎡	2.0m	屋内(フレコンバック)
金属くず	3.0㎡	1.0㎡	0.83m	屋内(ドラム管)
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	3.0㎡	6.0㎡	2.0m	屋内(フレコンバック)
水銀使用製品産業廃棄物	5.1㎡	2.0㎡	0.83m	屋内(ドラム管)

《特別管理産業廃棄物許可》

所在地	佐賀県佐賀市嘉瀬町大字荻野2221番地8			
特別管理産業廃棄物	面積	保管上限	保管高さ	備考
感染性産業廃棄物	12㎡	25㎡	2.0m	室内(冷蔵庫)

X III. 施設等の状況

《運搬車両》

車種	台数	配備状況
パッカー車 (4トン)	2台	佐賀
パッカー車 (3.5トン)	2台	伊万里
パッカー車 (3トン)	3台	佐賀
保冷バン (3トン)	2台	佐賀
幌付き平ボデー車 (2トン)	1台	伊万里
貨物バン (2トン)	1台	佐賀
パワーゲート車 (3トン)	1台	佐賀
軽貨物バン (0.35トン)	1台	佐賀
ダンプ車 (3トン)	2台	佐賀1台 伊万里1台
乗用車 (ハイブリット車)	3台	佐賀

2. 認証・登録の対象範囲 (当社は全組織・全活動を対象としています。)

対象事業所 : 有限会社アバクリーン 本社、佐賀事業所、伊万里営業所

対象事業活動 : 一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、
特別管理産業廃棄物収集運搬業(医療系廃棄物等)

3. 環境経営方針

環 境 理 念

有限会社 アバクリーンは、廃棄物の収集運搬業を通して、地球と地域の環境保全並びに循環型社会の構築に貢献します。また、積極的に環境経営システムを取り入れ環境負荷の低減に努めます。

環 境 経 営 方 針

1. 環境への取組として、特に次の事項に注力します。

- ① 収集・運搬車両のエコドライブを実践し、二酸化炭素の削減に取り組めます。
- ② 事業所での電気使用量の節約により、二酸化炭素の削減に取り組めます。
- ③ 水使用量の削減に取り組めます。
- ④ 事業所での廃棄物の削減とリサイクル化に取り組めます。
- ⑤ 排出事業所への情報提供や分別の指導に取り組めます。
- ⑥ グリーン購入の積極的推進に取り組めます。

2. 地域清掃等の社会貢献活動を積極的に行います。

3. 環境に関する法律・規則・協定を遵守します。

4. 環境経営システムの内容を全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めながら環境経営の継続的改善に取り組んでいきます。

制定日 平成23年10月25日

改訂日 2019年8月1日

有限会社 アバクリーン

代表取締役 牧野 保博

4. 環境経営目標

* 基準年度は2017年度(基準処理量:2,815t)及び1,1の1～5の上段は二酸化炭素排出量、
下段は、(排出量/処理量)とします。 【各年度は毎年8月～翌年7月】

環境経営目標		単位	2017年度 (基準年度)	2018年度	2019年度	2020年度
1	全社二酸化炭素 排出量の削減		—	基準年比1%削減	基準年比2%削減	基準年比3%削減
		kg-CO ₂	84098	83,257.2	82,416.2	81,575.3
		kg-CO ₂ /t	29.88	29.58	29.28	28.98
1の1	電気使用量の削減		—	基準年比1%削減	基準年比2%削減	基準年比3%削減
		kg-CO ₂	3,758.7	3,721.1	3,683.5	3,645.9
		kg-CO ₂ /t	1.34	1.33	1.31	1.30
	使用量;kWh	7,782.0	7,704.2	7,626.4	7,548.5	
1の2	ガソリン使用量の 削減		—	基準年比1%削減	基準年比2%削減	基準年比3%削減
		kg-CO ₂	2,878.9	2,850.1	2,821.3	2,792.5
		kg-CO ₂ /t	1.02	1.01	1.00	0.99
	使用量;L	1,240	1,227.6	1,215.2	1,202.8	
1の3	軽油使用量の削減		—	基準年比1%削減	基準年比2%削減	基準年比3%削減
		kg-CO ₂	76,105.9	75,344.8	74,583.8	73,822.7
		kg-CO ₂ /t	27.03	26.76	26.49	26.22
	使用量;L	29,000	28,710	28,420	28,130	
1の4	灯油使用量の削減		—	基準年比1%削減	基準年比2%削減	基準年比3%削減
		kg-CO ₂	1,295.8	1,282.8	1,269.9	1,256.9
		kg-CO ₂ /t	0.46	0.455	0.451	0.446
	使用量;L	520	514.8	509.6	504.4	
1の5	LPG使用量の削減		—	基準年比1%削減	基準年比2%削減	基準年比3%削減
		kg-CO ₂	59.03	58.44	57.85	57.26
		kg-CO ₂ /t	0.02	0.0198	0.0196	0.0194
	使用量;L	19.67	19.47	19.27	19.08	
2の1	軽油使用の燃費 向上		走行距離/燃料使用 量—	基準年比1%向上	基準年比2%向上	基準年比3%向上
		km/L	6.06	6.12	6.18	6.24
2の2	ガソリン使用の燃費 向上		走行距離/燃料使用 量—	基準年比1%向上	基準年比2%向上	基準年比3%向上
		km/L	10.01	10.11	10.21	10.31
3	自社発生廃棄物 (一般)の削減	t	—	基準年比1%削減	基準年比2%削減	基準年比3%削減
			0.660	0.653	0.647	0.640
4	総排水量(使用水 量)の削減		—	基準年比1%削減	基準年比2%削減	基準年比3%削減
		m ³	67	66.33	65.66	64.99
5	グリーン購入の推	品目	9品目	10品目以上	11品目以上	12品目以上
6	排出事業者への 情報提供(生ゴミ の水切りの周知 徹底)	件	60件	60件以上	60件以上	60件以上
7	地域の環境整備 [地域清掃等の 社会貢献活動]	回	12回	12回以上	12回以上	12回以上

※削減率及び改善率は2017年度実績値に対する割合を示す

※電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の平成28年度調整後排出係数0.483kg-CO₂/kWhを使用

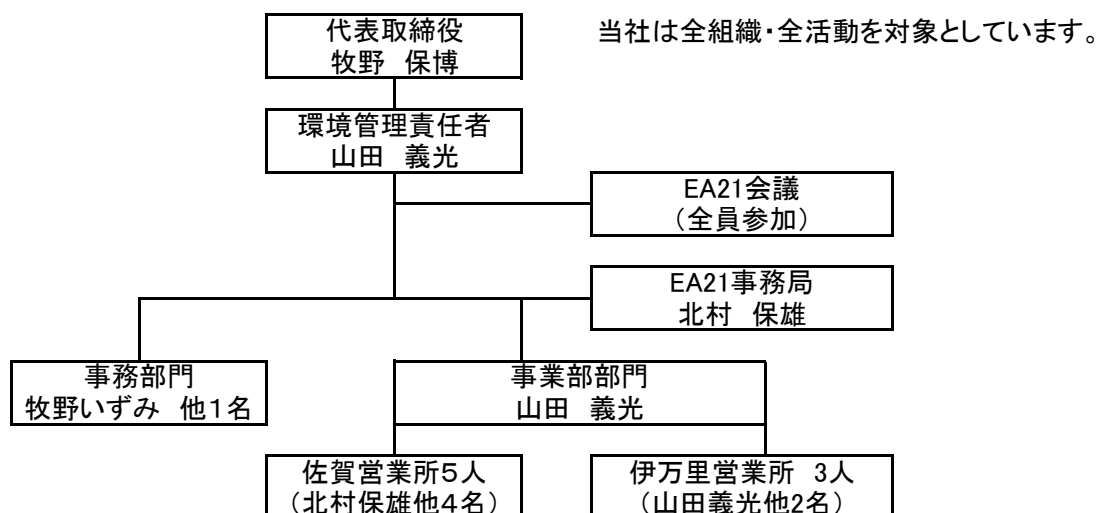
※当社は化学物質の使用はありません、

5. 環境経営計画（2020年度）

環境経営目標とその取組項目		環境経営目標の達成の手段	責任部署	
1	二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の3%削減	エアコンの設定温度を決め、実行する	全社
			照明器具の定期的な清掃・交換	
			空調機のフィルターの定期的な清掃(夏場は1回/月)	
			不用電力の消費抑制(不在時・不在箇所は電気を切る)	
			不用電力の抑制(昼休み時間は消灯する)	
		ガソリン・軽油使用量の3%削減	無駄の無い回収ルートの見直し	全社
			タイヤの空気圧の点検(1回/月)	
			回転板の空回しをしない	
			アイドリングストップの推進	
			車両の燃料使用量と走行距離のチェック	
	灯油使用量23削減	退社30分前の暖房停止	本社 佐賀	
	LPG使用量3%削減	使用しない夏季は元栓を切る	佐賀	
2 の 1	軽油使用の2%燃費向上	やさしいアクセル操作を心掛ける (急発進・急加速を避ける)	佐賀 伊万里	
2 の 2	ガソリン使用の2%燃費向上	やさしいアクセル操作を心掛ける (急発進・急加速を避ける)	本社 佐賀	
3	自社発生廃棄物(一般)の3%削減	当社で発生するコピー用紙の裏表使用の徹底	全社	
		出来る限りの可燃物を減らしリサイクル化	全社	
4	総排水量(使用水量)の3%削減	洗車時の水の出しっぱなしをしない	全社	
		トイレの雨水利用	全社	
		節水活動の推進(節水表示を行う)	全社	
5	グリーン購入の推進 (11品目以上)	事務用品の購入時エコマーク商品の優先購入	全社	
		再生紙の購入推進	全社	
		環境配慮型車両の購入推進	本社	
6	排出事業者への情報提供 [生ゴミの水切りの周知徹底] (60件以上)	排出事業者への分別表作成、配布を行い、実行の手伝いを行う	佐賀 伊万里	
7	地域の環境整備 【地域清掃等の社会貢献活動】 (12回以上)	地域清掃等の社会貢献活動を積極的に行う	全社	

6. 実施体制(対象組織)

有限会社 アバクリーン エコアクション21 実施体制



職 名	役割・責任・権限
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限をもつ 環境経営方針を作成し・見直し、従業員に周知する。 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する。 環境への取組を実施するための資源(人、物、金、情報)を準備する。 EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 環境経営目標、環境経営計画を作成する。 3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認する 上記の結果を代表者に報告する。 環境経営方針以外の環境文書の制改定責任者
EA21会議	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月に1回、会議を開き環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況報告・討議を行う。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成維持・集計・管理を行う 社外からの環境情報の収集と伝達を行う 環境記録の廃棄
事業部 事務部	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する 環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する 自部門で発生した問題点の是定処置、予防処置を実施する 自部門に関連する法規制等を順守する 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する 自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

※環境記録の保存期間は、5年とする。

7. 環境経営目標の実績とその評価

* 基準年度は2017年度(基準処理量:2,815t)とします。1及び1の1～5の上段は二酸化炭素排出量、下段は、(排出量/処理量)とします。

(年度は8月～翌年7月とします。)

環境経営目標	単位	2017年度 (基準年度)	2020年度		達成率%	評価
			目標	実績		
				処理量 2943		
1 全社二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	84,098	81575	88,805	91.9%	×
	kg-CO ₂ /t	29.88	28.98	30.17	96.1%	
			基準年比3%削減			
1 の 1 電気使用量の削減	kg-CO ₂	3,758.7	3645.9	2,643.0	137.9%	○
	kg-CO ₂ /t	1.34	1.3	0.90	144.4%	
	使用量:kWh	7782	7548.5	5,472.0	137.9%	
			基準年比3%削減			
1 の 2 ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂	2,878.9	2792.5	2,900.0	96.3%	○
	kg-CO ₂ /t	1.02	0.99	0.99	100.1%	
	使用量 L	1,240	1202.8	1,250.0	96.2%	
			基準年比3%削減			
1 の 3 軽油使用量の削減	kg-CO ₂	76,105.9	73822.7	83,050.2	88.9%	×
	kg-CO ₂ /t	27.03	26.22	28.37	92.4%	
	使用量: L	29,000	28130	32,190.0	87.4%	
			基準年比3%削減			
1 の 4 灯油使用量の削減	kg-CO ₂	1,295.8	1256.9	199.2	631.0%	○
	kg-CO ₂ /t	0.460	0.446	0.07	637.4%	
	使用量: L	520	504.4	80.0	630.5%	
			基準年比3%削減			
1 の 5 LPG使用量の削減	kg-CO ₂	59.03	57.26	13.1	438.8%	○
	kg-CO ₂ /t	0.02	0.0194	0.004	485.0%	
	使用量: kg	19.67	19.08	4.4	438.6%	
			基準年比3%削減			
2 の 1 軽油使用の燃費向上	燃費: km/L	6.06	6.24	5.44	114.7%	○
	(走行距離/燃料使用量)		基準年比3%向上			
	走行距離 km			175,390		
2 の 2 ガソリン使用の燃費向上	燃費: km/L	10.01	10.31	10.60	97.3%	○
	(走行距離/燃料使用量)		基準年比3%向上			
	走行距離 km			13,255		

環境経営目標	単位	2017年度 (基準年度)	2020年度		達成率%	評価
			目標	実績		
3 自社発生廃棄物(一般)の削減	t	0.660	0.640	0.570	112.3%	○
4 総排水量(使用水量)の削減	m ³	67	64.99	78.00	83.3%	×
				基準年比3%削減		
5 グリーン購入の推進	品目	9	12品目以上	12品目		○
6 排出事業者への情報提供[生ゴミの水切りの周知徹底]		60件	60件以上	60		○
7 地域の環境整備 {地域清掃等の社会貢献活動}		12回	12回以上	4回		×

※電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の平成28年度調整後排出係数 0.483kg-CO₂/kWhを使用

※削減率及び改善率は2017年度実績値に対する割合を示す

削減率=目標値/実績値 改善率=目標値/実績値 達成率:100%以上、○ 100%未満 ×

8. 環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標とその取組項目		目標の達成の手段	取組評価
1	二酸化炭素排出量の削減	エアコンの設定温度を決め、実行する	○
		照明器具の定期的な清掃・交換	○
		空調機のフィルターの定期的な清掃(夏場は1回/月)	○
		不用電力の消費抑制(不在時・不在箇所は電気を切る)	○
		不用電力の抑制(昼休み時間は消灯する)	○
	ガソリン・軽油使用量の削減	無駄の無い回収ルートの見直し	△
		タイヤの空気圧の点検(1回/月)	○
		回転板の空回しをしない	○
		アイドリングストップの推進	○
		車両の燃料使用量と走行距離のチェック	○
灯油使用量の削減	退社30分前の暖房停止	○	
LPG使用量削減	使用しない夏季は元栓を切る	○	
2 1	軽油使用の燃費向上	やさしいアクセル操作を心掛ける (急発進・急加速を避ける)	○
2 2	ガソリン使用の燃費向上	やさしいアクセル操作を心掛ける (急発進・急加速を避ける)	○
3	自社発生廃棄物(一般)の削減	当社で発生するコピー用紙の裏表使用の徹底	○
		出来る限りの可燃物を減らしリサイクル化	○
4	総排水量(使用水量)の削減	洗車時の水の出っぱなしをしない	△
		トイレの雨水利用	×
		節水活動の推進(節水表示を行う)	○
5	グリーン購入の推進	事務用品の購入時エコマーク商品の優先購入	○
		再生紙の購入推進	○
		環境配慮型車両の購入推進	○
6	排出事業者への情報提供 (生ゴミの水切りの周知徹底)	排出事業者へのちらし作成、配布を行い、周知徹底を行う	○
7	地域の環境整備 【地域清掃等の社会貢献活動】	地域清掃等の社会貢献活動を積極的に行う	×

9. 環境経営活動の取組結果に対する評価・次年度の取組について

目標：二酸化炭素排出量 基準年度比3%削減

《取組結果に対する評価》

目標値に比べ4%の増加で目標未達成、4月からの新規の得意先の増加と遠方の産業廃棄物の中間処理施設への運搬業務も増加した為軽油の使用量が大幅に増加した事が要因と考えられる。

《次年度への取組の指針》

遠方の産業廃棄物の中間処理施設への運搬の際は特にエコドライブを心掛ける。

目標：軽油使用の燃費向上 基準年度比3%向上

《取組結果に対する評価》

目標値に比べ8%増加で目標未達成。収集ルートや収集回収等の見直しを定期的に行ってはいるが、社員の配置換えや収集先の増減等において、結果的に燃費の向上にはつながらなかった。

《次年度への取組の指針》

収集ルートや収集回数等の見直しを継続して定期的に行い、アイドリングストップを心掛ける。

目標：ガソリン使用の燃費向上 基準年度比3%向上

《取組結果に対する評価》

目標は達成しているが、新規得意先開拓等の為に使用している営業車に必要な無い荷物等を積んだままにしていた事が要因と考えられる。

《次年度への取組の指針》

必要な無い荷物等の積みっ放しは燃費の悪化につながる為、必要最低限の荷物以外は積んだままにしないよう心掛ける。

目標：自社発生廃棄物(一般)の削減 基準年度比3%削減

《取組結果に対する評価》

基準年比13%減で目標達成。

目標達成につながった要因は、社内で印刷する文書類のコピー用紙の裏紙使用と古紙間屋への紙類のリサイクルの推進の結果と考えられる。

《次年度への取組の指針》

上記の活動は効果のあるものとして、継続して削減活動を進めていく。

目標：総排水量(使用水量)の削減 基準年比3%削減

《取組結果に対する評価》

20%増で目標未達成。目標達成が出来なかったのは、伊万里営業所の水利用量が昨年度に引き続き増加した事と、佐賀営業所に新たに完成した寄宿舍での水洗トイレやシャワー等の使用が増えた事が要因と考えられる。

《次年度への取組の指針》

シャワー等の水の出しっ放しを無くし、トイレの雨水利用を推進する。

目標：グリーン購入の推進 12品目以上

《取組結果に対する評価》

合計12品目で目標達成。再生紙(コピー用紙、トイレットペーパー)、ティッシュペーパーノートで目標は達成した。更に10月に、環境配慮型車両(4トン塵芥車)1台と1月に、環境配慮型車両(3トン塵芥車)1台を購入した。

《次年度への取組の指針》

常時必要な品目は、継続できるように維持努力して、さらに環境配慮製品の購入が進むように努力する。

目標：排出事業者への情報提供(生ゴミの水切りの周知徹底) 60件以上

《取組結果に対する評価》

合計60件。目標達成。

《次年度への取組の指針》

目標は達成出来たので、次年度も引き続き推進する。

目標：地域の環境整備[地域清掃等の社会貢献活動] 12回以上

《取組結果に対する評価》

目標未達成。昨年度に続き月1回以上の目標に対して、数回に渡り活動に取り組んだが、突発の粗大ゴミ収集や未だ終息の見えない新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響で全体的に活動を行う事が難しかった事が出来なかった要因と考えられる。

《次年度への取組の指針》

目標達成する為には、次年度も月末に会議を開き、全体的に行っていた活動を佐賀と伊万里それぞれの事業所に分けて活動を行う日程を決め推進する。

10. 今後の環境経営目標

* 基準年度は2020年度(基準処理量2,943t)とします。1及び1の1～5の上段は二酸化炭素排出量、下段は、(排出量/処理量)とします。

(年度は8月～翌年7月とします。)

環境経営目標		単位	2020年度 (基準年度)	2021年度	2022年度	2023年度
1	全社二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	88,805	87,917	87,029	86,141
		kg-CO ₂ /t	30.17	29.87 基準年比1%削減	29.57 基準年比2%削減	29.26 基準年比3%削減
1 の 1	電気使用量の削減	kg-CO ₂	2,643.0	2616.6	2590.1	2563.7
		kg-CO ₂ /t	0.90	0.89	0.88	0.87
		使用量:kWh	5,472	5,417.3 基準年比1%削減	5,362.6 基準年比2%削減	5,307.8 基準年比3%削減
1 の 2	ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂	2,900.0	2,871.0	2,842.0	2,813.0
		kg-CO ₂ /t	0.99	0.98	0.97	0.96
		使用量:L	1,250	1,237.5 基準年比1%削減	1,225.0 基準年比2%削減	1,212.5 基準年比3%削減
1 の 3	軽油使用量の削減	kg-CO ₂	83,050.2	82,219.7	81,389.2	80,558.7
		kg-CO ₂ /t	28.37	28.09	27.80	27.52
		使用量:L	32,190	31,868 基準年比1%削減	31,546 基準年比2%削減	31,224 基準年比3%削減
1 の 4	灯油使用量の削減	kg-CO ₂	199.2	197.2	195.2	193.2
		kg-CO ₂ /t	0.07	0.069	0.069	0.068
		使用量:L	80.0	79.2 基準年比1%削減	78.4 基準年比2%削減	77.6 基準年比3%削減
1 の 5	LPG使用量の削減	kg-CO ₂	13.1	12.97	12.84	12.71
		kg-CO ₂ /t	0.004	0.0040	0.0039	0.0039
		使用量:kg	4.4	4.36 基準年比1%削減	4.31 基準年比2%削減	4.27 基準年比3%削減
2 の 1	軽油使用の燃費向上	燃費:km/L	5.44 (走行距離/燃料使用量)	5.49	5.55	5.60
2 の 2	ガソリン使用の燃費向上	燃費:km/L	10.6 (走行距離/燃料使用量)	10.71	10.81	10.92
3	自社発生廃棄物(一般)の削減	t	0.570	0.564 基準年比1%削減	0.559 基準年比2%削減	0.553 基準年比3%削減
4	総排水量(使用水量)の削減	m ³	78.00	77.22 基準年比1%削減	76.44 基準年比2%削減	75.66 基準年比3%削減
5	グリーン購入の推進	品目	12品目	12品目維持	12品目維持	12品目維持
6	排出事業者への情報提供 [生ゴミの水切りの周知徹底]		60件	60件以上	60件以上	60件以上
7	地域の環境整備 {地域清掃等の社会貢献活動}		12回	12回以上	12回以上	12回以上

※電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2020年度調整後排出係数 **0.479kg-CO₂/kWh**を使用

※削減率及び改善率は2020年度実績値に対する割合を示す

※当社は化学物質の使用はありません

11. 今後の環境経営計画 (2021年度～2023年度)

環境経営目標とその取組項目		環境経営目標の達成の手段	責任部署	
1	二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の2%削減	エアコンの設定温度を決め、実行する	全社
		照明器具の定期的な清掃・交換		
		空調機のフィルターの定期的な清掃(夏場は1回/月)		
		不用電力の消費抑制(不在時・不在箇所は電気を切る)		
		不用電力の抑制(昼休み時間は消灯する)		
	ガソリン・軽油使用量の2%削減	無駄の無い回収ルートの見直し	全社	
		タイヤの空気圧の点検(1回/月)		
		回転板の空回しをしない		
		アイドリングストップの推進		
	灯油使用量の2%削減	車両の燃料使用量と走行距離のチェック	本社 佐賀	
灯油使用量の2%削減		退社30分前の暖房停止		
LPG使用量2%削減	使用しない夏季は元栓を切る	佐賀		
2 の 1	軽油使用の2%燃費向上	やさしいアクセル操作を心掛ける (急発進・急加速を避ける)	佐賀 伊万里	
2 の 2	ガソリン使用の2%燃費向上	やさしいアクセル操作を心掛ける (急発進・急加速を避ける)	本社 佐賀	
3	自社発生廃棄物(一般)の2%削減	当社で発生するコピー用紙の裏表使用の徹底	全社	
		出来る限りの可燃物を減らしリサイクル化	全社	
4	総排水量(使用水量)の2%削減	洗車時の水の出っぱなしをしない	全社	
		トイレの雨水利用	全社	
		節水活動の推進(節水表示を行う)	全社	
5	グリーン購入の推進 (11品目以上)	事務用品の購入時エコマーク商品の優先購入	全社	
		再生紙の購入推進	全社	
		環境配慮型車両の購入推進	本社	
6	排出事業者への情報提供 [生ゴミの水切りの周知徹底] (60件以上)	排出事業者への分別表作成、配布を行い、実行の手伝いを行う	佐賀 伊万里	
7	地域の環境整備 【地域清掃等の社会貢献活動】 (12回以上)	地域清掃等の社会貢献活動を積極的に行う	全社	

12. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規などの違反や訴訟はありません。

また、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

当社における主要な環境法令は次のとおりです。

・廃棄物処理法(一般廃棄物収集・運搬業)	適合
・廃棄物処理法(産業廃棄物収集・運搬業)	適合
・廃棄物処理法(特別管理産業廃棄物処理業)	適合
・廃棄物処理法(管理票)	適合
・家電リサイクル法	適合
・小型家電リサイクル法	適合
・自動車リサイクル法、道路交通法	適合

13. 代表者による全体の評価と見直し・指示

平成26年7月25日に環境経営方針を一部改訂し(更に2019年8月に一部改訂)、2018年8月に新たに3年間の環境経営目標を設定して環境経営の取組の方向性を定め、2020年度は2021年7月まで1年間活動して来ました。その活動の結果を踏まえ、代表者による全体の見直しを2020年9月に行いました。

2021年 9月 30日

代表取締役 牧野 保博

《環境経営システムが有効に機能しているか》

エコアクション21の更新審査を終え、新たな3年間の環境経営目標の3年目の活動取り組みが過ぎました。さて、本年は、古参社員の退職に伴い、新入社員等の入れ替わりが多々あり、業務の体制の変更を余儀なくしなければならない場面があり、計画の変更を致しました。しかし、その割には、現社員の理解により、有効に機能している方だと思いました。

《環境への取組の実施状況は適切か》

二酸化炭素の排出量は、新規の得意先の増加等で軽油使用も増加があり目標達成出来ませんでしたが、電気・灯油・LPGの使用は減少している。佐賀営業所の水の使用量の増加は、新たに完成した寄宿舍で今まで無かった水洗トイレやシャワー等の使用の増加によるものである。地域の環境整備に関しても、前記記載の理由のため目標達成出来なかった。

《環境経営方針、目標、経営計画、実施体制及びシステムの変更の必要性》

特に変更の必要はありません。

エコアクション21の中期環境経営目標策定後3年経過しますが、新入社員の業務の一環として、環境教育も行いたい。

《総括》

環境に対して配慮することが経営に結びつくエコアクションの意義が更にわかってもらえたと
思う。しかし、今後は目標の設定や実行の為の方法について、なお一層の考慮をし、継続を
していく事が大変大事だと会社全員で認識する必要がある。

14. 受託した廃棄物処理量

2020年度(2020年8月～2021年7月)

処理方法等	廃棄物等種類	処理方法等	処理量(t)
収集運搬 産業廃棄物	廃プラスチック類		255.6
	〃(紙オムツ)		0
	〃(発泡スチロール)		0.24
	ガラスくず等		2.43
	金属くず		3.80
	廃油		0.01
	廃酸		0.34
	廃アルカリ		0.26
	ゴムくず		0
	燃え殻		0
	汚泥		0.85
	紙くず		0
	木くず		0
	繊維くず		0
	動植物性残さ		0
	感染性廃棄物(特管)		254.7
	廃油(特管)		0
	廃酸(特管)		0
	廃アルカリ(特管)		0
	汚泥(特管)		0
産業廃棄物収集運搬量合計			518.23
一般廃棄物収集運搬量合計			2424.52

※(特管)特別管理産業廃棄物